

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 三次町地区 急傾斜地崩壊対策事業に伴う測量・地質調査・設計・用地調査業務委託(交付金)その2

事業・工事名

調査目的及び調査対象 その他 自然斜面

ボーリング名	BorNo. R5-7		調査位置	広島県三次市三次町 地内		北緯	34° 49' 23.3000"		
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和5年10月23日～ 令和5年11月 6日		東経	132° 48' 58.5400"	
調査業者名			主任技師			現場代理人			
コ	ア		ボ		ア		ボ		
孔口標高	TP 176.86m		角	180° 上 90° 下 0°		方	0°北 90°東 180°南 270°西		
総削孔長	22.00m		度	0°		地盤勾配	30° 鉛直 90° 水平 0°		
使用機種	試錐機 東邦地下工機 DO-C型		エンジン	ヤンマー NS-90EK型		ポンプ	東邦地下工機 BG-3C型		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位/測定月日	標準貫入試験					試験採取	室内試験	削孔月日
											深	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量			
	176.78	0.60	隙混り粘土質砂	隙混り粘土質砂	黒褐	rd2			最上部層(表土) ・最上位は腐植混じる黒褐の腐葉土 ・砂は細-中粒、細粒分及び腐植を伴う 崩壊土 ・基岩同質の岩層から成る崩壊堆積物 ・φ40mm程度以下の基岩同質の中-粗礫が混入 ・基質は粘性中位な粘土質砂であり、砂分は細-中粒砂から成る ・φ5mm程度以下の細線-鉱物片を伴い粒度不均一	11/2	10	14	10	34	300			10/24
	172.86	4.00	隙混り粘土質砂	隙混り粘土質砂	暗褐	rd3			崩壊土 ・泥流状を呈す基岩支持の崩壊堆積物 ・礫はφ20mm程度以下の基岩同質の細-中粒及びびくさりレキが混入 ・基質は基岩風化帯起源の粘土質砂 ・砂分は細-中粒砂 ・粘土質は土柱状を呈す	11/2	10	14	10	34	300			10/26
	167.96	8.90	粘土質砂	粘土質砂	黄褐	rd3			古期崩壊堆積物 ・基岩同質の岩層から成る崩壊堆積物 ・礫はφ20-50mm程度の基岩同質の中-粗礫が混入 ・場所的に確認石長L=10cm程度の玉石点在 ・基質は基岩風化帯起源の粘土質砂であり、砂分は細-中粒砂 ・φ5mm程度以下の細線-鉱物片を伴い粒度不均一	11/2	10	14	10	34	300			10/27
	163.16	13.70	隙混り粘土質砂	隙混り粘土質砂	黄灰	rd3			更新世段丘堆積物 ・確認石径φ200mm以下の玉石が混入 ・礫はφ75mm程度以下の円磨度中位な中-粗礫 ・基岩同質礫をはじめ花崗岩質礫や泥質岩礫等から成り礫種に富む ・基質は中-粗粒砂、粒種幅広く細粒分を伴う	11/2	10	14	10	34	300			10/30
	158.26	18.60	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	黄灰	rd5			流紋岩質凝灰岩弱風化岩(CL) ・岩質はやや堅硬なるも亀甲状の不規則な節理が発達 ・節理面は概ね暗褐色に変色 ・GL-19.20-19.80m間、硬質な残留岩芯と未固結な破砕部が混交する破砕帯部であり半固結の土柱状を呈す 流紋岩質凝灰岩(CM) ・岩質はやや堅硬、採取試料は短-長柱状 ・節理面は概ね暗褐色に変色、黄灰色の膠着物が場所的に挟在 ・コア肌はやや粗面、ハンマーの軽打で金属音 ・GL-20.30m付近、節理にて礫-岩片状	11/2	10	14	10	34	300			10/31
	154.86	22.00	流紋岩	流紋岩	暗青					11/1	10	14	10	34	300			11/1

